

# 令和 2 年度事業報告書

自 2020年4月1日～ 至 2021年3月31日

## 運 営 事 業

### (1) 第一種社会福祉事業

- ア 特別養護老人ホームかりん (定員90名)
- イ 特別養護老人ホームかりん・町田 (定員77名)

### (2) 第二種社会福祉事業

- ア 老人短期入所施設 かりん (定員20名)
- イ 老人短期入所施設 かりん・町田 (定員8名)
- ウ 老人サービスセンターかりん (定員35名)
- エ 認知症対応型老人共同生活援助事業所 いこいの郷 花梨・成瀬 (定員18名)
- オ 認知症対応型老人共同生活援助事業所 いこいの郷 花梨・赤羽 (定員18名)
- カ 認知症対応型老人共同生活援助事業所 いこいの郷 花梨・赤羽 (定員18名)
- キ 認知症対応型老人共同生活援助事業所 いこいの郷 花梨・赤羽 (定員18名)
- ク 保育所 湘南まるめろ保育園
- ケ 保育所 湘南わもっか保育園

### (3) 公益事業

- ア 居宅介護支援センター かりん
- イ 居宅介護支援センター かりん・町田
- ウ 地域包括支援センター 藤沢東部いきいきサポートセンター
- エ 企業主導型保育園 まるめろっじ

## 令和2年度年間事業経過について

- 4月・人事発令(1日)、各事業所へ新型コロナウイルス感染防止対策通知発送
- ・令和元年度中の国家資格等の取得者 介護福祉士8名合格、社会福祉士1名
  - ・新採用常勤職員、藤沢1名、町田1名 保育園3名(新卒1名)
  - ・湘南まるめろ保育園、第2湘南まるめろ保育園入園・進級式(1日)
  - ・新型コロナウイルス対応緊急事態宣言発令(7日)、面会やボランティアの入館中止
  - ・保育園来園児は玄関対応実施
  - ・菖蒲湯週間30日から5月上旬実施
- 5月・人事発令(1日)
- ・湘南まるめろ保育園、分園共通園乳幼児4分の1程度となる
  - ・令和2年度第1回理事会(書面実施)(16日)
  - ・新型コロナウイルス対応緊急事態宣言解除(25日)
  - ・第2湘南まるめろ保育園増築園舎地鎮祭(28日)
- 6月・人事発令、入居者面会条件付きで限定再開(1日)、
- ・令和元年度法人決算に関する監事監査(4日)
  - ・神奈川高齢福祉施設協議会総会(5日)
  - ・令和2年度第2回理事会(6日)(事業報告、決算報告、防音工事設計委託入札等)
  - ・かりん藤沢防音工事設計委託契約締結(19日)
  - ・法人定時評議員会開催(21日)(事業報告、決算報告等)
  - ・第2湘南まるめろ保育園増築内装工事入札実施(30日)
- 7月・人事発令、湘南地区中途入職者研修、保育園玄関先受け渡しから従前に戻す
- ・GH原当麻職員研修(8日) ・ ベトナムに関する勉強会(9日)
  - ・夏期賞与支給(10日)、
  - ・町田地区中途入職者研修、第2湘南まるめろ保育園夏祭り(15日)、
  - ・保育園事業で、3園の統括園長に藤村園長が兼務で就任(16日)
  - ・ベトナム関係勉強会(23日) ・ かりん町田複数回に分けて夏祭り実施
- 8月・人事発令、ケーブルテレビ茅ヶ崎広報番組に「まるめろっじ」放送(1日)
- ・企業主導型保育園「まるめろっじ」提携企業複数契約開始
  - ・盆行事飾りつけ(13~16日)
  - ・保育園コロナ第二派対応で玄関先対応切り替え(14日)、
  - ・湘南地区中途入職者研修(19日) ・ベトナム関係勉強会(20日)
  - ・特養藤沢夜間緊急連絡網訓練(21日) ・ GH成瀬夏祭り・家族会開催(26日)
  - ・町田地区中途入職者研修、GH成瀬夏祭り(26日)、
  - ・保育園引き渡し訓練(28日)
- 9月・人事発令、(1日)
- ・敬老会開催(藤沢21日、GH成瀬14日、GH南大谷16日、GH赤羽根19日、GH原当麻26日)

- ・令和2年度第3回理事会（書面実施）
- ・ベトナム関係勉強会（24日）
- ・湘南まるめろ保育園、第2湘南まるめろ保育園運動会（26日）
- ・令和2年度第2回評議員会（書面実施、定款、給与規定の所管庁より指示部分）
- 10月・人事発令（1日）
- ・特養藤沢かりん秋祭り（4日）
- ・横浜保育福祉専門学校保育士研修に入る（5日～16日）
- ・保育園保護者保育参加事業実施（6～9日）
- ・法人リーダー会議初回開催（12日）
- ・湘南地区中途採用者研修（14日）
- ・第2湘南まるめろ保育園名を湘南わもっか保育園と決定する。（11月より）
- ・EPAベトナム介護人材4名（11月上旬来日予定決まる）
- 11月・人事発令、湘南わもっか保育園増築開園（1日）
- ・かりん町田及び周辺特養事業所採用者研修（4日）
- ・EPAベトナム介護人材4名来日（11日）
- ・保育園指導監査（12日）
- ・情報公表訪問調査（13日）
- ・特養かりん文化祭（25日）
- ・令和2年度第4回理事会（28日）
- 12月・子育て応援メッセ（5日）
- ・横浜保育福祉専門学校保育士研修に入る（5日～16日）
- ・法人第2回評議員会開催（6日）（中間事業報告等）
- ・保育園発表会（11日）
- ・法人リーダー会議開催（14日）
- ・湘南地区中途採用者研修（14日）
- ・冬期賞与支給日（18日）
- 1月・EPAベトナム介護人材4名施設就労開始（13日）
- ・新型コロナ対応緊急事態宣言発令（7日）
- ・企業主導型保育園まるめろっじ立ち入り調査（14日）
- 2月・節分イベント実施（2日）
- ・法人リーダー会議開催（8日）
- 3月・雛祭りイベント（3日）
- ・令和2年度第5回理事会（事業計画及び収支予算等）（20日）
- ・新型コロナ対応緊急事態宣言解除（21日）
- ・令和2年度第3回評議員会（事業計画及び収支予算等）（28日）

## <令和2年度を総括するための社会背景>

### ～世界の中では～

- ・アメリカでのバイデン政権への転換で、自由主義諸国間との世界協調へと変わり、世界経済の安定化に進みながら、貿易や後進国支援では大きな変化が出ている。
- ・昨年2月から中国武漢で発生した新型コロナウイルスによる社会的影響は生命や医療、経済へと想定できないほどの波紋をもたらし、社会生活も変えざるを得ない状況にあり、その被害は現在、社会の危機にある。

・コロナワクチンの生産やその流通が滞り、世界は困惑の極みにあるが、ようやく接種が始まった。

#### ～日本の全国的状況は～

- ・日本の産業構造は、依然として大企業と投資集団や金融資産を有する階層に依拠しつつあり、また、経済政策の恩恵は、とりわけ庶民には回ってこない状況で、上下の経済格差が更に拡大している。
- ・加えて、依然として続くコロナ禍の中で、東京オリンピック開催も混迷しており、感染防止対策を強化することが急務となっており、様々な問題に影響を与え、より一層法人でも各事業所の感染防止対策強化や、事業運営に工夫をしなければならない。
- ・少子高齢化が一段と進む中で、子供を育て易い社会環境の整備が急務とされ、今まで集中的に高齢者介護環境の改善に努めてきた国・行政は公共諸政策が保育環境整備に移行しつつある。

#### ～法人を取り巻く地域環境～

- ・人材難の中、少しずつ補強や研修を充実させて行く中、成長する法人の将来に向けて、ベトナムからの人材の受け入れを準備し、新型コロナウイルスの影響下、1月になりん藤沢に受け入れることができ、令和3年度も4名の人材の確保することができた。今後も多様な人材を受け入れていく必要がある。
- ・働き方改革の提唱の中で、労働環境を向上させることも求められてきたが、上述した関係で錯綜の事態となっているが、労働環境の諸規則を改訂し、働きやすい環境整備に努めている。
- ・法人を巡る環境は非常に厳しく、克服すべき課題も抱えたが特に人材の確保では、困難な状況が進行した。高齢の人材も活用していく方向性は一段と進むと思われる。
- ・新型コロナウイルス感染は、変異株に変わりつつあり、感染力を増して、事業運営上も最も留意する環境である。実際に職員や利用者には陽性患者や濃厚接触者を幾つかの事業所で抱え、危機感を持った

#### <全体的総括内容について>

- ・法人全体としては、令和2年度で11箇所での運営を展開する規模となり、ユニット型特養や保育園、地域包括、企業主導型保育園と整備の広がりの中で、新たな飛躍を期して、各施設全体で、理念に基づき、堅実で、効率的な人事配置とランニングコストの削減に努め、今後の展望も広げるためにも一層の努力を傾注してきた。
- ・職員の技力と熱意、関係者の協力、支援の輪を背景に、「あたたか、安心、いきいき」の理念のもと、充実した日常生活の提供と、地域協力の拡充強化に向け努力した。こうした面を通じて困難な課題もあったが、各事業の連携や相乗効果を生み出し、法人の未来を明るいものに繋げたと確信する。

1 11箇所事業を展開する中で、法人組織の点検と再構築を行いながら、高齢者が安心して暮らせ、乳幼児が安心して豊かに育てられる事業目的を追求し、また組織の透明性の確保や個々の事業をグループ化し合理的な把握と展開を行った。「GH南大谷」開所や「GH原当麻」移管後は順調に推移した。また、「第2湘南まるめろ保育園」は本園化し、特色のある「湘南わもっか保育園」となった。園庭横には掘り抜き井戸を整備し、災害に備える形にし、傾斜地には森の中に木製遊具を配置し、またピザ窯やかまどを設置した。3つの園で有効活用を進める。

更に企業主導型保育園「まるめろっじ」も地域関係者の利用促進や法人職員確保のため、入職する職員の利便性に貢献した。

2 加算体制の変化を見据えて各事業では収益向上に向け、制度整備を進めた。また、GHの医療体制

の課題解決に取り組み、看護師の巡回訪問を実施することが出来た。人事処遇や組織管理等ソフト面では、人事評価制度を充実させ、運用を着実に推進し、研修体制の充実強化も進めた。

- 3 「新成長産業」といわれている介護事業や保育分野へは、様々な企業が子会社を設立し進出しており、社会福祉法人としてもしっかり運営するため、組織運営体制の調整や人事処理の整備を進め、厳しい現状にも対応可能となるようハードとソフト両面から検証して、ホームページの充実や関係先との連携で打開策を進めた。
- 4 特に介護では、令和2年度も介護人材の雇用に苦心する展開になり、研修や面接等できめ細かい配慮を進め、克服の道を一定程度築くことができた。  
施設内の研修発表会や外部研修への派遣を行ったが、コロナのため参加者の多い研修はできなかった。
- 5 事業拡大に伴い、各事業所への巡回等を通じて、組織体制や財務処理、経理処理等の整備、確立に取り組んだ。法人本部機能を堅実なものとし、各事業所の連携と協調の体制に変更した。しかし、まだまだ十二分でない面も残っている。
- 6 高度情報社会での情報伝達手段として、IT機能を使いこなすようICT化の推進として介護記録のネットワーク化、ソフト更新を進め、特養やグループホーム、保育園で、その運用を実現してきた。
- 7 保育園事業は開園から6年間が経過し、0歳児から利用した園児も含めて、本年度は15名の卒園児が誕生した。周辺環境を活かし特養、グループホームとの交流を進める予定であったがコロナ禍で最近の一年間は出来なかった。しかし自然とのふれあいや畑での野菜栽培等行い、感覚豊かな子供達として成長を進められた。今後も老保交流等各事業所間でのプラス・プラスの関係を模索する。
- 8 新規事業として、「湘南わもっか保育園」隣接場所での学童保育支援事業「かりんキッズルーム」を開園することが出来た。
- 9 藤沢の「特養かりん」は建設から17年を経過し、ガス冷暖房や電話交換装置等、施設構造物や設備・備品類で耐用年数が限界に近いとため、現在調整中の防音工事と並行し行うことで設計計画を進めた。
- 10 法人の運営する地域包括支援センター事業や、短期入所生活介護事業、通所介護事業等の重層的運営の特性や連携を活かして、緊急対応や措置入所等についてセーフティネットの役割を果たした。
- 11 法人職員が約350名近くとなり、各事業所内での退職防止と働きやすい職場環境のため、親睦やコミュニケーションの円滑化を図る必要があり、法人全組織を対象として福利厚生制度の充実と研修支援体制の強化により、組織の纏まりに供した。
- 12 法人の介護人材の充足を長期的に確保するため、外国人材の導入が必要と判断し、EPA制度の導入で4名の採用が実現し、更に次年度4名のベトナム人女性と就労契約を締結することが出来た。

## <法人本部>

- 1 定款変更申請認可

令和2年度は11月2日付けで、令和元年度12月と令和2年度6月及び令和2年度9月に理事

会、評議員会議決・審議事項を纏めて申請した。

- ・第一条（目的）保育園事業法人規定追加分
- ・第一〇条（権限）評議員会の所管事項の変更
- ・第二八条（資産の区分）企業主導型保育園及びGH南大谷の建物の財産追加
- ・第三一条（事業計画及び収支予算）理事会承認事項の追加
- ・第三七条（種別）企業主導型保育事業、介護職員初任者研修の事業追加

## 2 定款変更登記

定款変更認可申請に対し、12月1日付けで変更申請承認を得、12月17日登記処理終了

## 3 監査関係

### (1) 神奈川県による指導監査

＜特養かりん・町田関係＞

令和2年度は、東京都からの実地指導監査は無し。

＜特養かりん関係＞

令和2年度は、神奈川県の実地指導監査は無し。

＜保育園関係＞

令和2年11月12日 「湘南まるめろ保育園」、「第2湘南まるめろ保育園」を対象として神奈川県子どもみらい局次世代育成課による実地指導監査があった。2月5日付けで監査結果通知があり、指摘事項はなく評価された。

＜企業主導型保育園関係＞

令和3年1月14日 「まるめろっじ」に対して、神奈川県県民局次世代育成課による立ち入り調査があり、実地指導監査があった。4月22日付けで結果通知があり、2点の不十分な点が指摘され、改善を求められた。

＜地域包括支援センター関係＞

令和3年3月3日 「藤沢東部地区いきいきサポートセンター」事業の執行状況の自己評価の点検と評価の電話による確認指導があった。

## 4 選挙について

(1) 令和2年度は、7月5日に東京都知事選挙が執行された。

## 5 理事会・評議員会・監事監査・評議員選任・解任委員会

(1) 監事監査 令和2年 5月31日

(2) 理事会 令和2年 5月16日

・令和2年度第1回理事会（書面理事会）

＜決議事項＞ 第1号議案 特別養護老人ホームかりん防音補助事業に於ける設計業者選定入札について

第2号議案 第2湘南まるめろ保育園本園化に係る独立行政法人福祉医療機構よ

## りの借入金について

- ・令和2年度第2回理事会 令和2年 6月 6日
  - <報告事項> ① 第2湘南まるめろ保育園本園化について
  - <議案> 第1号議案 令和元年度事業報告について
  - 第2号議案 令和元年度収支決算書等について
  - 第3号議案 監事監査報告について
  - 第4号議案 令和元年度分事業に関する事業報告・収支決算定時評議員会の招集について
  - 第5号議案 法人の定款・規定・規則等の改正について
  
- ・令和2年度第3回理事会（書面理事会） 令和2年 9月22日
  - <議案> 第1号議案 法人定款第一条の内容追加と事業追加について
  - 第2号議案 令和2年度第2回評議員会（書面による）の開催について
  - 第3号議案 法人職員給与規程（高齢者事業所及び保育園）の変更について
  
- ・令和2年度第4回理事会 令和2年11月28日
  - <報告事項> ① 理事長の業務報告令
  - ② 令和2年度前期事業経過報告について
  - ③ 令和2年度中間収支決算状況報告について
  - ④ 特別養護老人ホームかりんの防音工事の進捗報告について
  - ⑤ 第2湘南まるめろ保育園の名称変更、増築工事の終了について
  - <議案> 第1号議案 法人理事の辞任と新理事の推薦について
  - 第2号議案 認可保育園事業からの委託料の弾力的運用について
  - 第3号議案 令和2年度第一次補正予算案について
  - 第4号議案 令和2年度第3回評議員会の招集について
  
- ・令和2年度第5回理事会（書面理事会） 令和3年 2月 9日
  - <議案> ① 神奈川県社会福祉協議会が実施する「社会福祉振興基金借り入れについて
  
- ・令和2年度第6回理事会 令和3年 3月20日
  - <報告事項> ① 理事長の業務報告について
  - ② 新規事業に関する報告について
  - <審議議案> 第1号議案 令和2年度第二次補正予算案について
  - 第2号議案 令和3年度事業計画案について
  - 第3号議案 令和3年度収支予算案について
  - 第4号議案 評議員会の招集について
  - 第5号議案 法人の定款・規定・規則等の改正について

### (3) 評議員会

- ・令和2年度定時評議員会 令和2年 6月21日
  - <報告事項> ① 理事長の業務報告
  - ② 「第2湘南まるめろ保育園事業」の本園化について
  - ③ 特別養護老人ホームかりんの防音工事について
  - <審議議案> 第1号議案 令和元年度事業報告について
  - 第2号議案 令和元年度収支決算書等について
  - 第3号議案 監事監査報告について
  - 第4号議案 法人の定款・規定・規則等の修正・改訂について
  
- ・令和2年度第2回評議員会（書面評議員会） 令和2年 9月29日
  - <審議議案> 第1号議案 法人定款第一条の内容追加と事業追加について
  - 第2号議案 法人職員給与規程（高齢者事業所及び保育園）の変更について
  
- ・令和2年度第3回評議員会 令和2年12月 6日
  - <報告事項> ① 理事長の業務報告
  - ② 令和2年度前期事業経過報告について
  - ③ 令和2年度中間収支決算状況報告について
  - ④ 特別養護老人ホームかりんの防音工事の進捗報告について
  - ⑤ 第2湘南まるめろ保育園の名称変更、増築工事の終了について
  - ⑥ 法人定款変更の認可書の受理について
  - <審議議案> 第1号議案 法人理事の辞任と新理事の選任について
  - 第2号議案 認可保育園事業からの委託料の弾力的運用について
  - 第3号議案 令和2年度第一次補正予算案について
  
- ・令和2年度第4回評議員会 令和3年 3月28日
  - <報告事項> ① 理事長の業務報告について
  - ② 新規事業に関する報告について
  - <審議議案> 第1号議案 令和2年度第二次補正予算案について
  - 第2号議案 令和3年度事業計画案について
  - 第3号議案 令和3年度収支予算案について
  - 第4号議案 法人の定款・規定・規則等の改正について

### <法人事務局>

住 所 ; 神奈川県藤沢市城南 1-22-7 特別養護老人ホームかりんに事務所を置く

職員配置 ; 藤沢の「特養かりん」の事務業務と兼務し、本部機能と法人各事業所の総務・経理を担当する。

理事長 1名 統括事務長 1名 事務員 6名



## <当年度の総括>

2020年度は相模原市に「いこいの郷花梨・原当麻」町田市に「いこいの郷花梨・南大谷」のグループホームが開所し、永寿会の事業所は11か所になり、職員数は300人を超えるようになった。

人事・給与に関して、なお一層の職員管理と誤りのない給与支給のため、社会保険労務事務所の協力のもと精力的に業務を進めた。

介護人材については外国人材「EPA ベトナム生」受け入れのため「特養かりん」を拠点として、受け入れ側施設職員への研修、およびベトナム生の日本語教育に励み、ベトナム生の生活基盤の確立のため担当者は幅広く活動・援助し、2021年11月に来日以後順調に日本語習得と介護福祉士練習問題に取り組み、介護業務や日本の生活に馴染んで来ている。日本人の介護職員確保に対してはホームページや求人サイト、派遣・紹介で求人活動を活発に行い、応募者が少ない昨今としては多数の応募に恵まれた。が充足できるまでには至らなかった。

会計上でも初めて本部拠点を立ち上げ、拠点ごとの会計担当者を決め正確な処理に努めた。

令和2年度はコロナ感染症に関する補助金申請と入金関係、感染予防の備品購入・整備の嵐が吹きまわった年であり、会計処理・備品管理は膨大になった。

コロナ感染者は施設利用者、職員で計2名であったが、濃厚接触者となった職員の出勤停止や保育所、小学校閉鎖の影響で勤務できない労働者が出現し、雇用調整助成金申請事務も行った。

法人役員会については事務職員の人数を増やし会議体制を整え、議事録作成を迅速に行えるようになった。又、役員会の指摘で法人事業計画の書式統一を図り、今後も使用可能な様式が出来上がった。

いろいろな局面を迎えた令和2年であったが、まだ本部としてどうあるかは今後運営していく過程で決まっていくことと思う。

### 1 重点目標について

#### (1) 安定した経営を行う

| 年間目標               | 成果・取り組み、課題                                                                                                                                                                |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・法人本部機能の立ち上げと充実を図る | ①会計の本部拠点を立ち上げ、資金の確保や手段を決めた。<br>②役員会の円滑な開催と記録のため会議進行の人員を増やし準備から議事録まで一貫の流れを作り、迅速な事務処理ができるようになった。<br>③法人本部はかりん事務所にあり、ほとんどの事務員がかりん事務と兼務しているが、むしろ情報共有しやすく話し合いもできる。協力し合うことができた。 |
| ・EPA人材の育成、確保と定着を図る | ①内定者にメールで日本語や介護用語を継続して教える。<br>②2021年1月に4名の「EPA ベトナム生」が「特養かりん」に入職した。住居の用意、生活用品を4人分公平に準備し、気持ちよく働けるよう配慮した。<br>③両国の理解を深めるため職員との交流を頻繁に実施し、大きなトラブルもなく業務が遂行できている。                |

|                  |                                                                                         |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| ・事務作業の合理化と正確性の追求 | ①社会保険労務事務所職員による給料計算一部委託と顧問税理士からの助言や指導を受け、事業の方向性と確認を行った。                                 |
| ・災害対策強化と災害時備品点検  | ①土砂災害避難計画書を作成した。(藤沢市様式による)<br>すべて計画書通りには出来なかったが緊急連絡の新たな方法を模索し、安否確認システムを次年度から採用することとなった。 |

## (2) サービスの質の向上

| 年間目標・計画               | 成果・取り組み、課題                                                                                          |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・コロナ感染症予防対策の徹底        | ①入居者・職員の安心安全な生活確保のためコロナ予防対策物品の補助金申請と物品購入<br>②各事業所の備蓄状況の確認、必要物品の配布<br>③雇用調整助成金で休業補償金の申請と職員への支払い      |
| ・介護業務軽減のための ICT 補助金活用 | ①無線LAN配置 (町田・南大谷・成瀬)<br>②眠りスキャン (町田) 導入<br>③介護ソフト導入とタブレット購入 (町田・南大谷・成瀬)<br>④テレワーク助成金で PC, 付属カメラ等の購入 |

## (3) 人材確保

| 年間目標・計画      | 成果・取り組み、課題                                                                                      |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・法人広報の見直しと強化 | ①ホームページ (保育園リニューアル) 採用サイトの年間契約実行で保育士採用は充足した。                                                    |
| ・職員採用と離職防止対策 | ①資格取得に要する費用の支援、初任者研修の実施、職員の紹介による入職促進、入職祝い金制度 (時限付きで活用)<br>②福利厚生費用を予算化し交流を図ったが、コロナのため一部の活用に終わった。 |

## (4) 地域貢献

| 年間目標・計画                        | 成果・取り組み、課題                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・企業内保育地域枠の利用促進<br>・無認可学童保育設置準備 | ①年度当初は利用者が少なかったが、営業努力と地域の協力で保育園が認知され利用が増え、年度末には定員 9 名中 8 名になった。<br>②働く両親にとって小学校入学した子が安心して下校時を過ごせる場所を提供できる学童保育を準備し 2 月から始めた。次年度の希望者は 10 名となり定員一杯となった。今後も増える予測だが、受け入れ人数、ノウハウ、遊び場提供等、課題が残されている。 |

以 上